

認 定 書

19EL765

国住指第 1805 号
令和 2 年 9 月 25 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1125
2. 認定をした構造方法等の名称
黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管・硬質ポリ塩化ビニル管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別 添

1. 構造名：

黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管・硬質ポリ塩化ビニル管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造
／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ209mm以下)
	面積	0.0343m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		54.3%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様		
保温材	材料	仕様：あり又はなし		
		塩化ビニルシート付グラスウール保温材		
		厚さ	25mm以上	
	使用箇所		立て管、横枝管、継手に直巻き	
	外層	材料	仕様：あり又はなし	
			塩化ビニルシート	
		厚さ	1.8mm以下	
	内層	材料	グラスウール保温材(JIS A 9504)	
		厚さ	25mm以上	
密度		0.024g/cm ³ 以上		
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25	
		砂	75	
使用箇所 (使用量)	床と管との隙間 (床厚方向100mm以上密に充てん)			

表3 配管の仕様

項目		仕様	
配管	継手	材料	硬質ポリ塩化ビニル管継手 (ただし外径及び厚さはJIS K 6739に規定する寸法)
		組成 (質量%)	
		寸法	外径：φ150.1mm以下 厚さ：5.4～6.0mm以下
	立て管 ・ 横枝管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)
		組成 (質量%)	
		寸法	外径：φ140mm以下 厚さ：7.5mm以下

4. 副構成材料の仕様：

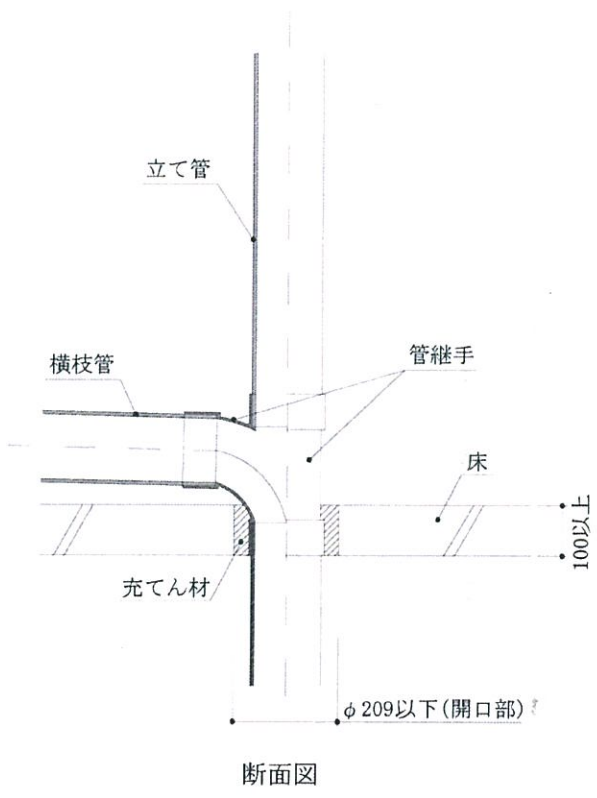
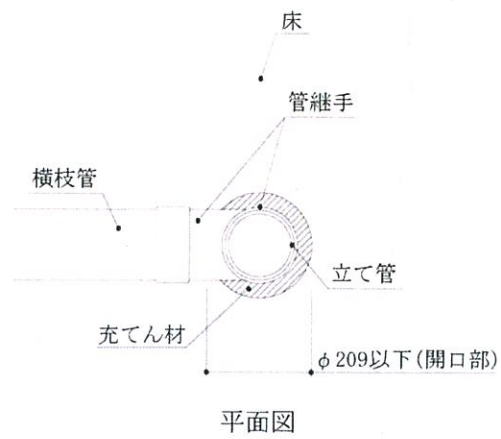
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
接着剤	材料	仕様：①又は② ①アクリル樹脂系 ②塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系	
	塗布量	30g以下/1ヶ所	
	使用箇所	配管と継手の接続用	
金網	材料	仕様：あり又はなし 亀甲金網(JIS G 3554)	
	寸法	0.4mm以上	
	使用箇所	保温材の固定材	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1及び図2に示す。

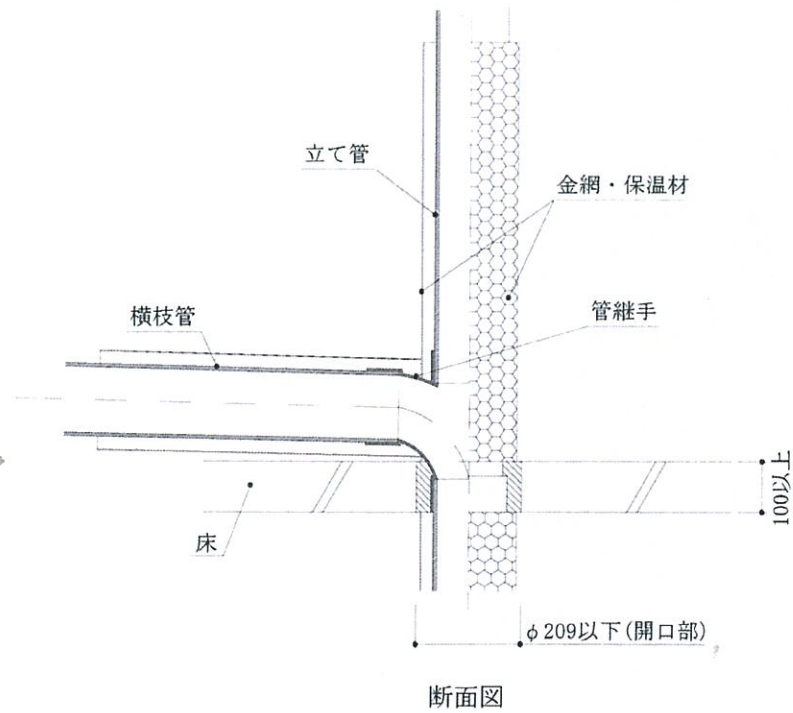
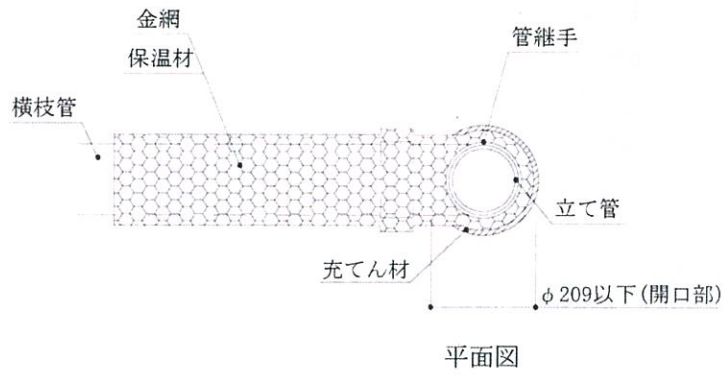
単位 mm



注) 保温材(金網含む)を用いない場合

図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



注) 保温材(金網含む)を用いる場合

図 2 構造説明図 (施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が仕様に適していることを確認する。

(2) 配管の設定

所定の位置となるように設置する。

(3) 開口部の埋戻し

開口部と配管の隙間に、充填材(セメントモルタル)を密に充填する。

なお、開口部の下部に板等を用いて仮押えしセメントモルタルを充填する場合、セメントモルタル硬化後、隙間の無いことを確認する。

(4) 保温材の取り付け

必要に応じて、保温材を取り付ける。